

国立スポーツ科学センター（JISS） オプトアウトにより実施する研究

研究課題名	スポーツ活動における脳振盪サーベイランスシステムの構築への取り組み
倫理審査委員会承認番号	2023-013-2
研究開始日	2026年4月21日
研究終了日	2028年3月31日
研究目的	頻度や分布といった発生状況を学校管理下・ハイパフォーマンススポーツ両方で継続的に監視することにより、スポーツ関連脳振盪（SRC）の疫学的特徴を示すことである。そのような特徴を基に発生要因の評価を行うことで発生対策の計画やサーベイランスシステム構築の根拠となるデータをして活用を目指す。
研究対象者	災害共済給付データ：利用可能なもっとも古い年度以降の医療費総額5千円以上給付された中学校及び高等学校の生徒、メディカルチェックデータ：2004年以降に国立スポーツ科学センターでメディカルチェックを受診し問診データを入力したアスリート
研究概要	本研究は災害共済給付オンライン請求システムの蓄積されたデータ、および、過去のメディカルチェック問診データ（紙媒体で作成され電子化されているデータ）、メディカルチェック時の問診データとして利用しているNOBORIアプリに蓄積されたデータを使用した記述疫学研究である。災害共済給付オンラインシステムデータは医療費として給付した中学校および高等学校のスポーツ活動による脳振盪事例に焦点をあて利用可能な最も古い年度のデータを基に、SRCの頻度と分布、および「年度」「学年」「男女別」について各競技で比較する。メディカルチェックデータについては、JISSクリニック開所以前の日本体育協会データも含まれているが、そのうち、脳振盪既往について確認を始めた、2004年以降のデータを組み入れデータとして扱い、「競技名」「性別」に加え「脳振盪既往確認MC初回日」「脳振盪既往の有無」「最終MC受診日」「フォローアップ期間」「フォローアップ期間中の脳振盪発生の有無」を評価することで、競技カテゴリー（特にコンタクトスポーツ、限定的コンタクトスポーツ、非コンタクトスポーツ）の違いが、脳振盪既往およびフォローアップ期間中の脳振盪新規発生にどう影響するかを評価する。
研究に用いる情報の種類	災害共済給付データ：給付年度、被災学校種別、被災学年、性別、部活動指導名称、災害名称、傷病名、災害発生時の状況、メディカルチェックデータ：性別、競技種目名、脳振盪既往の有無、メディカルチェック受診日
研究の資金源	JISS研究事業費
研究に係る利益相反及び個人の収益	本研究に係る利益相反や個人の収益はありません。
研究責任者	福嶋一剛/スポーツ医学研究部門
共同研究者	中嶋耕平/スポーツ医学研究部門、半谷美夏/スポーツ医学研究部門、西田雄亮/スポーツ医学研究部門、笹代純平/スポーツ医学研究部門、中山晴雄/東邦大学医療センター、中田由夫/筑波大学体育系
問合せ先	福嶋一剛/スポーツ医学研究部門 電話：03-5963-0211 e-mail: kazutaka.fukushima@jpnssport.go.jp